



海と山の若人が交流

7/29 友好交流都市福岡市東区青少年交流

友好交流都市である福岡市東区の小中学生10人が7月29日から4日間の日程で安曇野市を訪れ、市内の小中学生と交流を深めました。式典では記念品を交換したほか、上高地や長峰山を見学したり、キャンプファイヤーや川遊びをしたりしました。昨年も参加した北野優吾くん(松本秀峰中2年)は「前回の参加者もいて、また会えてうれしいです。友情をさらに深めたい」と話し、東区参加者の大浅田亜己くん(箱崎中1年)は「山々の高さに驚きました」と訪れた感想を話してくれました。



「働く」を学ぼう

7/22・23 穂高東中学校職場体験

穂高東中学校の2年生(190人)が7月22日から2日間、市内事業所で職場体験を行いました。この職場体験学習は社会人と一緒に仕事に取り組むことで、責任感やコミュニケーション能力を養い、自身の将来像を描くことなどを目的に毎年行われています。(有)北アルプス牧場(穂高有明)で行われた乳牛の飼育体験には、4人の中学生が参加。間近で見る乳牛の大きさに戸惑いながらも真剣に作業に取り組みました。生徒たちは「一日の搾乳量はどれくらいですか」など積極的に質問を投げ掛けていました。

「山」に感謝し、守り、育て、活かす

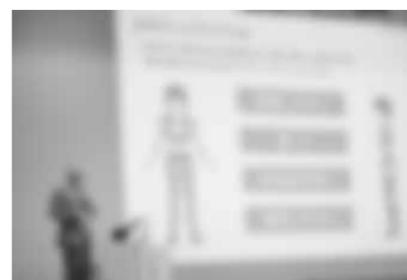
7/27 「信州山の日」制定記念イベント

「信州山の日」制定記念イベントが7月27日、国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区)で開催され、家族連れなど約1,000人が訪れました。

「信州山の日」は県民共通の財産である「山」に感謝し、将来にわたり守り、育て、活かしていくため毎年7月第4日曜日を期日として制定され、本年第1回目を迎えました。

この日、園内特設ステージでは制定を祝い、県歌「信濃の国」、唱歌「故郷」を参加者全員で合唱したほか、市内小学生約20人が「山」への思いを盛り込んだ「信州山の日宣言」を発表しました。イベントの開催を知り、家族で訪れたという内山里枝子さん(諏訪市)は「水が本当にきれいですね。子どもたちも自然のなかで大はしゃぎです」と園内で遊ぶ子どもの姿を微笑みながら見守っていました。

「山」をテーマにしたリレートークで講師を務めたC.W.ニコルさん(県森林大使)は、日本の山の素晴らしさに触れながら「自然は人間に癒しを与えてくれます。この信州山の日をきっかけに、一層、美しい森や川にしていく取り組みをしましょう」と呼び掛けました。



特別展の様子(上) ガラ紡績機の実演(左下) 橋本教授による講演の様子(右下)



「信州山の日」制定を祝い県歌を合唱(上) 信州の自然について語る、県森林大使のC.W.ニコルさん(左下) 同公園の池で元気に遊ぶ子どもたち(右下)

安曇野のモノづくりを知る

7/19 豊科郷土博物館「安曇野のエジソンたち」

豊科郷土博物館(百瀬新治館長)の夏季特別展「安曇野のエジソンたち」が始まり、開催初日となった7月19日、豊科公民館ホールで記念講演が開かれ、信州大学繊維学部教授・橋本稔さんが、市内企業と共同研究し、介護分野などで実用化が期待される「ロボティックウェア」(服のように着ることができるロボット)について報告しました。

この特別展は、「田園産業都市安曇野」を支えてきた、産業の歴史や現在のモノづくりの姿を、多くの市民に知ってもらおうと企画したものです。明治初期に、堀金出身の臥雲辰致が発明したガラ紡績機や市内企業16社の製品などが展示され、8月3日と8日には、ガラ紡績機の実演などが行われました。

製造業に定年まで携わったという来館者の丸山清治さん(穂高)は「市内にすばらしい企業が多くあると改めて感じました。これからは新しいことに挑戦し頑張りたい」と期待を寄せていました。(関連記事13ページ)



田淵さんの自宅跡に記念碑

7/2 田淵行男邸跡記念碑除幕式

名誉市民の故田淵行男さんが、平成元年に亡くなるまで住んでいた豊科南穂高の自宅跡地に、記念碑が建てられ7月2日、除幕式が行われました。この碑は、近くの見岳町交差点の改良工事により自宅が解体されたのに合わせ、田淵さんの活動拠点である自宅がこの場所にあったことを知ってもらおうと市が建てたものです。碑文には著書『高山蝶』に記された高山蝶を慈しむ言葉が刻まれています。田淵さんの長男・穂高さん(神奈川県座間市)は、田淵さんが安曇野を「美しい自然の教室」と語ったことに触れながら「碑文に込めた父の思いを受け止め、これからは安曇野の自然を守って行って欲しい」と話しました。



自然豊かな洞合自然公園で観察会

7/26 三郷まなび隊「わんぱくキッズ大作戦」

三郷まなび隊「わんぱくキッズ大作戦」(三郷公民館主催)が7月26日、三郷小倉の黒沢洞合自然公園で行われました。この催しは、子どもたちに身近な自然について体験しながら知ってもらおうと企画したもので、当日は市内から親子13組31人が参加。昆虫や植物などの観察会やネーチャージャンクゲームを楽しみました。参加した二本琥央くん(三郷小1年)は「たくさんの昆虫がいてとても楽しいです。昆虫は、格好が良いところがとても好きです」と話しました。